

WORLD DREAM BASEBALL 2023 NAGOYA

第5回世界身体障害者野球日本大会 9.9SAT-10SUN

会場：バンテリンドーム名古屋
主催：NPO日本身体障害者野球連盟



開会式 2023年9月9日 9:00～

- ・ 開会宣言:大会会長 福本豊 日本身体障害者野球連盟名誉理事長
- ・ 国歌斉唱:シンガーソングライター 心悠(みゆ)
- ・ 共催挨拶:大会名誉会長 大村秀章 愛知県知事
- ・ 共催挨拶:大会名誉会長 河村たかし 名古屋市長
- ・ 来賓祝辞:ENEOS株式会社 執行役員 布野敦子様
- ・ 来賓紹介
- ・ メッセージ:大会名誉顧問 長嶋茂雄 読売ジャイアンツ終身名誉監督
代読:大会顧問 寺西 睦 愛知県県議会議員
- ・ 選手宣誓:日本代表主将 松元 剛



始球式 2023年9月9日 10:00～

< 始球式 >

投手:元中日ドラゴンズ・メジャーリーガー 川上 憲伸様

打者:在名古屋米国領事館首席領事 マシュー・センサー様

第一試合のアメリカvs台湾に先立ち、豪華な組み合わせで始球式を行いました。



試合結果

*総当たり戦による勝利3点、
引き分け1点、負け0点で換算

チーム	台湾 Chinese Taipei	アメリカ USA	韓国 KOREA	日本 JAPAN	プエルトリコ PUERTO RICO
台湾 Chinese Taipei		▲ 3 - 3	● 2 - 4	● 0 - 18	● 1 - 2
アメリカ USA	▲ 3 - 3		● 2 - 13	● 0 - 4	○ 7 - 0
韓国 KOREA	○ 4 - 2	○ 13 - 2		● 7 - 8	○ 8 - 4
日本 JAPAN	○ 18 - 0	○ 4 - 0	○ 8 - 7		○ 4 - 1
プエルトリコ PUERTO RICO	○ 2 - 1	● 0 - 7	● 4 - 8	● 1 - 4	

優勝: 日本

準優勝: 韓国

3位: アメリカ

4位: プエルトリコ

5位: 台湾



優勝：日本代表チーム

<長嶋茂雄賞>

小寺 伸吾 (神戸・上肢障害・34歳)

<大会MVP>

早嶋 健太 (岡山・上肢障害・27歳)

<優秀選手賞>

藤川 泰行 (名古屋・下肢障害・27歳)

<殊勲賞>

田中 清成 (名古屋・下肢障害・34歳)

<敢闘賞>

飼沼 寛之 (名古屋・上肢障害・28歳)



4戦全勝で大会2連覇を果たした日本代表チーム。

韓国と戦った初戦は、最終回に追い上げられながらも8-7で逃げ切り、勝利となりました。

2戦目はプエルトリコを4-1で勝利し、3戦目は台湾に18-0と圧勝、最終のアメリカ戦では先発早嶋投手が無失点に抑え4-0で勝利。観客席からは大きなニッポンコールが起きました。

長嶋茂雄賞は 9打数中6安打の小寺 伸吾選手が獲得し、授与では代理の長島美奈様より授与いただきました。

大会MVPは第4回大会に続き、早嶋健太選手が受賞しました。

プレッシャーもある中、声援も後押しし一致団結した素晴らしいプレーを見せてくれました。

準優勝:韓国代表チーム

<優秀選手賞>

宋 光温 SONG, KWANGON
(背番号11・上肢障害・41歳)

<殊勲賞>

尹 軫鉉 YOON, JINHYUN
(背番号9・下肢障害・52歳)

<敢闘賞>

金 昌周 KIM, CHANGJOO
(背番号21・下肢障害・56歳)



FLT直前で3番姜 吉洙 (KANG, KILSOO)、62番金 龍範(KIM, YONGBUM)の2名が骨折等のやむを得ない理由で出場できず、戦力ダウンを余儀なくされたが、投打ともによくつながり、初の準優勝を飾りました。

初戦の日本戦では最終回の得点の追い上げが素晴らしく惜しくも敗れましたが、アメリカ戦では13-2でワールドゲームで勝利し、プエルトリコ戦は8-4にて勝利、台湾戦も4-2で勝利し、3勝1敗の戦績となりました。韓国の障害者ソフトボール連盟の理事長も来られていて、選手を激励していました。

韓国ニュースにも取り上げられました。(https://www.ablenews.co.kr)

<https://www.ablenews.co.kr/news/articleView.html?idxno=207197>

3位:アメリカ代表チーム

<優秀選手賞>

Michael Came

(背番号10・下肢障害・21歳)

<殊勲賞>

Tim Ruffino

(背番号4番・上肢障害・22歳)

<敢闘賞>

Kevin Ewing

(背番号15番・上肢障害・24歳)



第3回大会より出場しているSaul Bosquez主将がチームをまとめ、今回は選手の平均年齢が30歳と若いアメリカチーム。

今大会最年少の16歳のThomas Fisher選手のプレー中に義足が外れてしまい、臨時代走が送られて1塁から片足で3塁側ベンチまで戻った際には、観客席からは大きな拍手が起き、選手を讃えました。

在名古屋米国領事館首席領事 マシュー・センサー様から直接応援を受け、始球式ではユニフォームを着用していただき、メンバーは感激でした。

初戦の台湾戦は3-3の引き分け、プエルトリコ戦は7-0で勝利、韓国戦ではピッチャー交替にも関わらず打線を止めることができず2-13で敗北、最終日本戦では0-4で、1勝2敗2引き分けで3位となりました。

4位:プエルトリコ代表チーム

<優秀選手賞>

Itamar Giusseppe Medina Guivas
(背番号16・体幹障害・30歳)

<殊勲賞>

Juan Alfonso Rosa Negrón
(背番号33番・上肢障害・43歳)

<敢闘賞>

Alexis E. Abreu Machado
(背番号32番・上肢障害・32歳)



プエルトリコでは障害者ソフトボールを中心に活躍しているメンバーですが、今大会はプエルトリコの障害者ソフトボール振興の立役者で尊敬する方が亡くなり、少々つらい思いを抱えてきたそうです。第4回大会後亡くなったJDLの前理事長岩崎氏の名前のユニフォームを作ってきてくれ、日本スタッフ一同感激でした。球場では足の障がい装具を付けている子供に声をかけて「自分たちを見ていて」と笑いかけていました。アメリカ戦で0-7で敗戦、日本戦では1-4、韓国戦は4-8で敗戦続きでしたが、最後の台湾戦では2-1で勝利。最後に1勝できた際の喜びはひとしおでした。1勝3敗で4位となりましたが、「こんなに素晴らしいスタジアムで試合できるなんて大リーガーのようだ！この場にいられることを喜ぼう！」とベンチの雰囲気良く、ラテンの音楽とともに明るい彼らが大会の雰囲気を盛り上げてくれました。

5位:台湾代表チーム

<優秀選手賞>

盧 明儀 LU, MING-YI
(背番号7・下肢障害・40歳)

<殊勲賞>

詹 仕榮 CHAN SHIH-JUNG
(背番号77番・上肢障害・55歳)

<敢闘賞>

朱 廣霖 CHU, KWANG-LIN
(背番号42番・下肢障害・34歳)



台湾は応援者含め合計48名の来日で、今大会一番多い海外サポーター数でした。
台湾には2005年頃、日本連盟の理事が台湾に転勤した際に、施設や病院を回り障害者野球をひろめました。
それから20年近い年月が流れ、多くの選手やサポーターで組織も大きくなり、最近はプロ野球選手の指導を受ける機会もあるそうです。今大会に向けても合宿や練習を重ねてきました。
代表の潘瑋杰は連盟理事長であり、選手でもあり、チームをまとめていました。
戦績は、初戦のアメリカ戦は3-3で引き分け、韓国戦は2-4、日本戦は0-18、プエルトリコ戦は1-2で惜敗し、4敗の悔しい結果となりましたが、良い経験になったと大会終了後はお疲れさまで皆で盛り上がっていました。
他のチームの進歩を見てまだまだ自分たちの努力が足りないと、全員で上を目指して頑張ります。

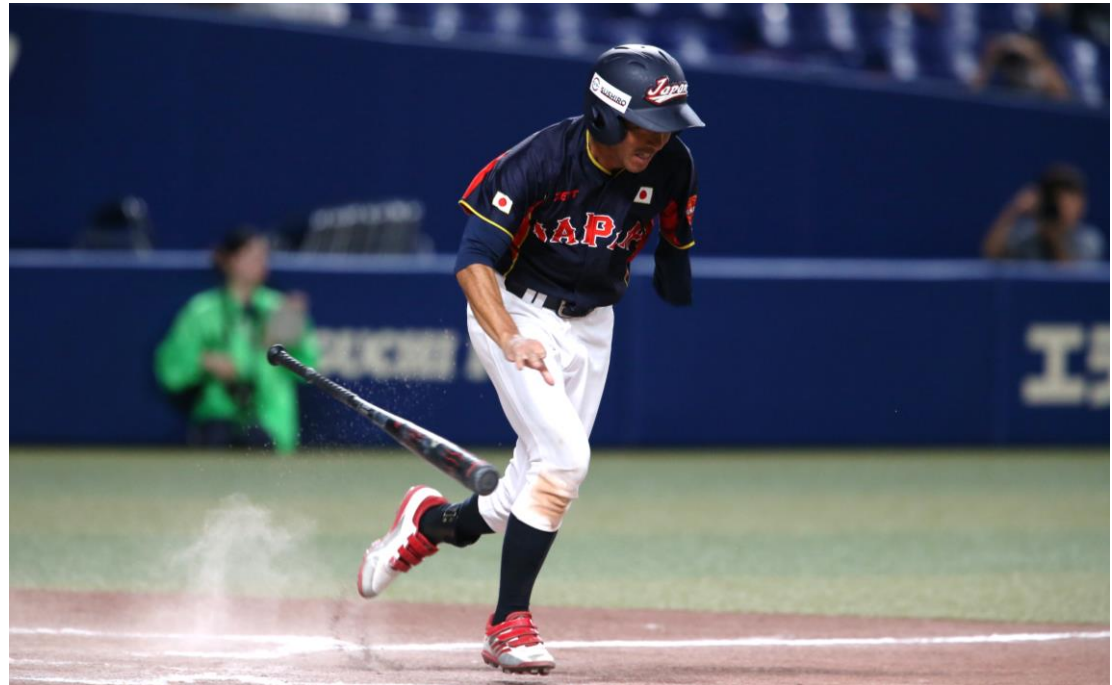
大会の様子



大会の様子

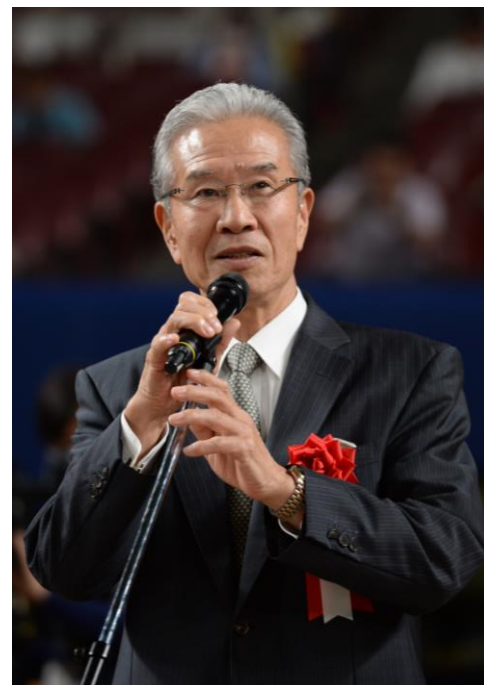


大会の様子



閉会式 2023年9月10日 17:40～

- ・アトラクション(ポッカレモン消防音楽隊・イリュージョニストDAIKI)
- ・ゲスト挨拶 元メジャーリーガー マック鈴木様
- ・講評:大会顧問 山田久志様 日本プロ野球名球会会員
- ・来賓紹介
- ・チーム表彰:ENEOS株式会社 広報部企業スポーツ室長 菊池明人様
- ・長嶋茂雄賞表彰:長嶋茂雄大会名誉顧問代理 長島三奈様
- ・個人表彰・メダル授与:
 - ENEOS株式会社 広報部企業スポーツ室長 菊池明人様
 - ゼット株式会社 取締役執行役員 山中 博様
 - MLB JAPAN マネージング・ディレクター川上 紗実様
 - 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES
 - コーポレートコミュニケーション・法務・秘書・SDGs管掌
 - 執行役員 福山 知子様
 - 株式会社浅沼組
 - 執行役員コーポレート・コミュニケーション部長 浅沼 真里香様
- ・閉会挨拶:大会顧問 寺西睦 愛知県県議会議員
- ・閉会宣言:大会会長 山内啓一郎 日本身体障害者野球連盟理事長



閉会式の様子



ご協賛・ご協力ありがとうございました

来場者数 9月 9日(土) 入場者:4,000名 参加者:4,600名

9月10日(日) 入場者:4,200名 参加者:4,800名

皆様のあたたかいご支援のおかげで第5回世界身体障害者野球大会を開催することができました。

初の愛知県開催ということで、今まで障害者野球を知らなかったという方に多く来場していただきました。障がいをもつお子様のいらっしゃるご家族も多くお見えになり、「障がいがあるとスポーツ観戦が難しいけれど、入場無料ということで気軽に観戦も出来、久しぶりに大好きな野球を家族で安心して観戦できました」とのお言葉や、「初めて観戦したが、どのプレーにも魂がこもっている。素晴らしい試合だった」とのあたたかいお言葉をいただきました。

また、選手たちも「こんなに素晴らしいスタジアムで試合できるなんて。この場にいられることを誇りに思う」とコメントし、バンテリンドーム名古屋という素晴らしい球場で大会ができることを喜びました。

運営面では力不足でご迷惑をおかけしましたが、選手の懸命なプレーを通じて、障がいに関わらずスポーツの力を少しでも多くの方に伝えることができている幸いです。

<共催> 愛知県 名古屋市 中日新聞社

<特別協賛>  **ENEOS**

<特別協力> **TOYOTA**

<協力>

日本プロ野球名球会 イオンモール(株)
(株)新東通信 4アウトプロジェクト実行委員会
名城大学 岐阜女子大学 愛知県立一宮商業高等学校
皇學館大学 ポッカレモン消防音楽隊、和太鼓音魂

<協賛>

 **ZETT**

 **SUSHIRO**

 **Asanuma**

 **MEITETSU**

 **TAMADIC**
Change creation into power

 **YAGAMI**
-Human Care Company-

 **Nissin**
with your Life

グローバルホーム

名古屋名物
みそかつ **矢場町**

 **神戸トヨペット**

 **トーカイ**
株式会社

 **EXSELI** 株式会社エクセリ

 **MLB**

 **MARUS BALL**
マルエスボール